



平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 プレシジョン・システム・サイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田島 秀二  
(コード番号：7707 東証マザーズ)  
問合せ先 管理本部長 福井三佐子  
(TEL.047-303-4800 <http://www.pss.co.jp/>)

## 業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成 28 年 8 月 12 日に公表した平成 29 年 6 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と本日公表の実績の間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

1. 平成 29 年 6 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異  
(平成 28 年 7 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	2,100	△380	△390	△395	△19 円 03 銭
実績値 (B)	1,938	△207	△177	△142	△6 円 89 銭
増減額 (B - A)	△162	173	213	253	
増減率 (%)	△7.7%	-%	-%	-%	
(参考) 前期第 2 四半期実績 平成 28 年 6 月期第 2 四半期	2,348	△254	△288	△261	△13 円 30 銭

2. 差異発生の理由  
(売上高について)

2015 年 9 月に発売した全自動遺伝子診断装置「geneLEAD XII Plus」については、OEM 先を通じて順調な販売推移となり、当初計画どおり前年同期から 2 倍の売上計上となりました。一方、自社販売については、代理店へのアプローチなどの活動を強化しておりますが、本格的な販売拡大には今しばらく時間が必要な様子であり、第 2 四半期末では計画を下回りました。そのため、第 2 四半期の売上は、1,938 百万円（当初予想比 7.7%減）となりました。

なお、通期におきましては、上半期の遅れを取り戻すべく営業活動を更に強化することで、当初計画通りの売上を達成する所存であります。したがって、通期見通しの修正はありません。

(利益について)

売上高の計画未達に伴い、売上総利益が減少しましたが、積極的にコスト低減に取り組んだほか、研究開発費の一部が下半期に持越しとなったことなどから、販売費及び一般管理費は 877 百万円（前年同期比 16.9%減）となりました。これらの結果、販売費及び一般管理費の減少分が、売上総利益の減少分を補う形となり、営業損益では当初計画を上回りました。また、近時の円安の影響から為替差益の発生もあり、経常損益、親会社株主に帰属する四半期純利益についても当初計画を上回りました。

なお、通期におきましては、上半期に計画していた研究開発費の一部が下半期に持ち越される見込みでありますので、通期全体としては、当初計画どおりの着地になるものと見込んでおります。したがって、通期見通しの修正はありません。

※通期見通しの業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上